

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせします

－ 川崎市の児童生徒の学習・生活の状況 －

令和5年4月18日に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の川崎市の調査結果（速報版）をまとめました。なお、本調査結果の詳細については、市教育委員会で分析した後、9月頃、川崎市総合教育センターのホームページに公表する予定です。

1 実施の状況

調査を実施した川崎市立学校は167校で、児童生徒合計20,471人が参加した。

内 訳：小学校 114校 中学校 52校 特別支援学校 1校（小学部・中学部）

参加人数：小学校調査 11,511人 中学校調査 8,960人（調査の種類により調査人数は若干変動）

2 教科に関する結果の概要

（1）教科に関する調査の平均正答数（問）と平均正答率（％）

ア 小学校調査

教科等	国語（14問）		算数（16問）	
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）
川崎市	9.8	70.0	10.7	67.0
全国	9.4	67.2	10.0	62.5

イ 中学校調査

教科等	国語（15問）		数学（15問）		英語（17問）	
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）
川崎市	10.5	70.0	7.9	53.0	9.0	53.0
全国	10.5	69.8	7.6	51.0	7.7	45.6

※川崎市、全国の値は、公立学校の調査結果です。

（2）各教科調査結果の主な特徴

比較的よい状況と考えられる主な設問（◇）、課題があると考えられる主な設問（◆）は次のとおりです。

小学校◇国語 2 「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」（91.5%）

◆国語 1 二 「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」（30.5%）

◇算数 1 (2) 「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中から適切な数の組を用いることができる」（90.2%）

◆算数 4 (3) 「示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせた棒グラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる」（57.8%）

中学校◇国語 1 一 「目的や場面に応じて質問する内容を検討する」（89.1%）

◆国語 4 三 「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える」（51.2%）

◇数学 2 「数と整式の乗法の計算ができる」（83.6%）

◆数学 7 (2) 「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」（32.0%）

◇英語 2 「日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ること」（71.8%）

◆英語 6 「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること」（50.6%）

※（ ）の値は川崎市の平均正答率

3 児童生徒質問紙調査結果の概要

		数値には「どちらかといえば」を含む	
学習に対する興味や授業の理解度			
○国語の授業の内容はよく分かる。	小学校	88.6%	中学校 83.1%
○算数・数学の授業の内容はよく分かる。	小学校	81.6%	中学校 72.9%
○英語授業の内容はよく分かる。			中学校 68.4%
自己有用感等			
○自分には、よいところがあると思う。	小学校	84.4%	中学校 79.8%
○将来の夢や目標を持っている。	小学校	79.9%	中学校 66.1%
学習習慣等			
○学校の授業時間以外の勉強時間。※「普段（月～金）1日当たりの時間」			
・2時間以上	小学校	36.9%	中学校 45.7%
・30分より少ない	小学校	18.1%	中学校 15.1%
○家で、自分で計画を立てて勉強している。	小学校	71.3%	中学校 55.6%
地域や社会に関わる活動の実施状況等			
○今住んでいる地域の行事に参加している。	小学校	47.5%	中学校 27.7%
○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	小学校	80.0%	中学校 59.5%
主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導改善に関する取組状況等			
○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	小学校	82.8%	中学校 82.2%
○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	小学校	68.4%	中学校 73.2%
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	小学校	83.9%	中学校 80.8%
基本的な生活習慣等			
○朝食を毎日食べている。	小学校	93.3%	中学校 89.6%
ICTを活用した学習状況			
○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。			
〔ほぼ毎日〕	小学校	29.8%	中学校 35.6%
〔週3回以上〕	小学校	67.4%	中学校 73.9%

◎今後の対応

教育委員会といたしましては、調査結果から明らかになった児童生徒の学習や生活の状況について学習指導要領改訂の趣旨等を踏まえて分析し、教育施策の充実を図ってまいります。また、各学校の全国学力・学習状況調査を活用した児童生徒の学力向上に向けた取組の改善について、学校と保護者・地域が一体となって推進していけるよう支援してまいります。

各学校においては、市の学習状況調査結果と合わせた調査結果報告書を作成し、保護者・地域に調査結果及び教育指導の改善等に関する情報を提供いたします。

問合せ先
川崎市教育委員会事務局総合教育センター
カリキュラムセンター 宮嶋・鶴木
電話 044-844-3730